Ξ
一回書
1)
7
Z,
士
7
しみましょ
Ţ
う
0
送り仮名を意識して読みを
1)
仮
夕
した
<u> </u>
思
識
L
7
読
4
な
٠
_
15
書
き
ŧ
~

			曾	謄	剛	粛	衷	枢	嬢	逮	叙	隆	漸	鎮	罷
			У У	トウ	ゴウ	シュ ク	チュウ	Z ウ	ジョウ	9 1	ジョ	IJ ġ	ゼン	(しず―める)(しず―まる)	٤
			曾	謄	剛	粛	衷	枢	嬢	逮	叙	隆	漸	鎮	罷
			曾	謄	剛	粛	衷	枢	嬢	逮	叙	隆	漸	鎮	罷
						7	T	_	7	7	7	7		/	1
「未曽有」のふりがなは「みぞう」と書くが、読むときは、 mizou 「みぞ―」と読む。これに類似する読みとしては、 をoushisouai souzou 相思相愛を「そ―と―」、相当を「そ―と―」、高校を「こ―こ―」、 mizouu i souzou がごouu i souzou をoushisouai souzou がごouu i souzou が、読むときは、		③木当有の大地震 (みぞう) まだ曾て有らずの意。昔から今までに一度もないこと。	⑩戸籍謄本 (こせきとうほん)	の質実剛健 (しつじつごうけん)申身が充実して飾り気がなく、心身ともに強くたくましいさま。	⑩網記事正 (こうきしゅくせい) 国家の規律を整えて、政治の在り方や政治家、役人の態度を戒め正すこと。	②和洋折衷 (わようせっちゅう) 田本と西洋の風習、様式を適当に(程よく)取り混ぜること。	◎中枢神経(ちゅうすうしんけい)脳や脊髄など、全身に指令を送る神経系統の総称。	の実業家のご今嬢( れいじょう )	⑥泥棒を   減捕する ( たいほ )	「叙情」自分の感情を述べ表すこと。「叙情詩」短歌、俳句、自由詩など幅広い。	④海底が隆起してできた島(りゅうき)出地が押し上げられて高く盛り上がること。また、盛り上がった所。	えること	②反乱を鎮圧する (ちんあつ)	①大臣が昭元される (ひめん)職務を辞めさせること。免職。	

## 漢字の造語力2

教科書に登場する漢字の読み

送り仮名を意識して読みを()に書きましょう。

⑩値千金のゴールを決める(あたいせんきん)	⑤ 田 日 を施す 世間に対する体裁。世間からの評価。	(ひつぜつ) まのすごいことがあり、そのことを言葉では到底表現のしようがないこと。	(3)番組がお芸成入りした (くら)が蔵入り」発表しようとしたもの、計画されていた事柄を取りやめ、世間の目には触れなくなること。	⑩儲けぬ前の胸質用 の中で見積もりを立てること。ノまだ利益も出ていないのにあれこれと計画を立てること。	① 机 上 の空論 ( きじょう ) (頭の中で考えただけの)理論だけで、実際には役に立たない案や意見。	⑩満場一致 (まんじょういっち)	◎社長のご今息 ( れいそく )		「叙事」 詩 ( じょじ ) 「叙事」 感情を交えず、事実、事件を客観的に述べること。	⑥道路が沿没する (かんぼつ)地面などが周囲より落ちこむこと。	⑤収益が漸減する、次第に減ること。少しずつ減らすこと。	④未知の分野 (みち)	③既知の事実 (きち)	②静脈と動脈 (じょうみゃく)	①敵を制圧する (せいあつ)
డ్ కొగి శ														(B) 大刀を買って出る (すけだち) mk刀を買って出る (すけだち) mk刀を買って出る (すけだち)	津津浦浦の全国津々浦々に名が知れる(つつうらうら)の全国津々浦々に名が知れる(つつうらうら)

## 教科書に登場する漢字の書き漢字の造語力2

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

値 面 筆
\
胸     机     場     令     釈     叙     陥       蔵     算     上     一     息     放     事     没       用     致

## 教科書に登場する漢字の書き漢字の造語力2

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

	□母方のそうそふ (曽祖父)	□ごうちょくな性格 (剛直)	□活動をじしゆくする (自粛)	口ちゅうしんより詫びる(裏心)	□すうじく産業 (松軸) (地神の中心となる重要なところ。ノ政治・権力の中心。	□じょけい歌を詠む (叙景)自然の景色を詩文に表すこと。短歌や俳句にも多い。	□じじょでんめ小説 (自叙伝)	ロりゅうせいを極める(隆盛) **えて勢いの盛んなさま。	口ぜんじ的発展 (漸次)	ロ火が完全にちんかする (鎮火)
							)			